

成績の上昇率

全国で5位。

河合塾マナビス 全校舎中、南草津校5位

年間 300 万人以上が受験する河合塾の全統模試。

その結果は河合塾はもちろん、日本全国の進学校で重要な成績指標として進路指導の参考に。

今回、全国 300 校以上の河合塾マナビス校舎中、南草津校が全統模試の成績上昇率が5位になりました。

校舎長の真下先生にインタビューをしてきました。是非ご覧ください。

## Q. 今のお気持ちを。

生徒たちが頑張った成果が、全国大会という場で称えてもらえたこと、その点が本当に嬉しいです！

生徒たちを誇らしく思う気持ちでいっぱいです。

## Q. 何が表彰されたのですか？

単純に言えば、高3生が「1年間でどれだけ成績が伸びたか」というのを計る賞です。

具体的には、日本で最大規模を誇る河合塾の『全統マーク模試』。この模試において、第1回から最終の第3回までの「総合平均偏差値の伸び」をランキングした賞です。

## Q. 生徒指導で工夫していることは？

いろいろとあるのですが…二つだけ言わせて下さい！

一つは、草津駅前校と南草津校の名物《タイマー&To-Do帳》です！  
僕の校舎では、すべての受講ブースに「タイマーとメモ帳（To-Do帳と呼称）」を設置しています。長くなるので割愛しますが…生徒たちの合格体験談でも「マナビスで良かった点」として頻りに挙げられる、全力でおすすめのご指導方針です！

もう一つは、《説明（セルフティーチング）》の徹底です。勉強で大切なのは、「わかる」よりも「解ける」こと。そして「解ける」よりも、なぜそうなるのか「説明できる」こと！「先生のコピーでいい、先生と同じことが言えることがゴール」と、この点を意識させながら何度も何度も復習をさせています。

生徒たちは「復習の意味」をこれで見つけてくれているように思います。

## Q. 他に自慢したいことは？

手前味噌かもしれませんが…今回表彰された高3生はもちろん、これまでも「高校の歴史に残る」ような合格者を出しているのが自慢です。

玉川高校から名古屋大学（工学部）に現役合格した生徒もいれば、その翌年には、光泉高校にII類で入学した生徒が、京都大学（農学部）に現役合格しました。どちらもその高校が開学されて以来初の出来事だそうですよ

## Q. 中学生のみなさんへのアドバイスを。

みなさんが中学で習う「基礎・基本」は、大学受験でも絶対に必要になります。確実に身につけておいて下さいね。中学生で習ったことは、中学生のうちに！です。基礎・基本、とても大切ですよ☆

## Q. 高校生のみなさんへのアドバイスを。

一度きりの高校生活、部活でも勉強でも何でもいいから、とにかく「全力で」がんばろう！え？やりたいことが見つからないから、全力でがんばれない？ 順番がちがーうーうー！！

**全力で頑張っているから、本当にやりたいことが見つかるんだーうー！**

## Q. 最後にひとこと。

マナビスのスタッフは「長距離走者の伴走ランナー」だと考えています。

全力で走る高校生のそばにつきながら、最短の道を示し、最適なペースを指示し、叱咤激励しながら背中を押して、栄養ドリンクも手渡します。大学受験という山あり谷ありの長距離走の中で、決してランナーを「孤独」にはしません。

ただ、長距離走には同じゴールへ向けて走るライバルがたくさんいることも、決して忘れないで下さい。マイペースで走って悔しい思いをするなら、苦しい思いで走って、最後に笑いましょう！